



## 5人の方を委嘱

### 市民協働推進アドバイザーを設置しました

盛岡市では、市民協働の推進に関して幅広い意見を伺うため、「盛岡市市民協働推進アドバイザー」に5人の方を委嘱しました。

8月22日(木)に初めてのアドバイザー会議を開催。盛岡市役所で行われた会議では、現在、市が策定を進めている「(仮称)盛岡市市民協働推進指針」について、指針案や市民協働の定義などを討議しました。



アドバイザーの皆さんからは、市民協働の骨子に係る意見が出され、市では、これら意見を集約し、今後の市の市民協働の考え方・ビジョンに反映していく予定です。



浅沼道成さん

(もりおかNPO連絡協議会会長・岩手大学人文社会科学部教授)

倉原宗孝さん

(岩手県立大学総合政策学部教授)

林晶子さん

(盛岡商工会議所女性会会長)

晴山貞美さん

(盛岡市町内会連合会会長)

平賀圭子さん

(特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて理事長)

これまでの取組を検証



## 各地域でヒアリングを実施しました

平成23年度から取組を実施している盛岡市の地域協働について、これまでの地域の取組や問題点、要望などを伺うため、市の担当職員が各地区を訪問して、ヒアリングを行いました。

各地区からは、「地域の団結が強まっている」、「各地域の実情に応じた対応が必要だ」などさまざまな意見が出され、市では、今回のヒアリング結果を通じて、改めて地域協働のあり方を検討し、今後の施策に反映していく予定です。



### 市民協働推進課・文化国際室でインターンシップ 大学生が市役所業務を体験

市民協働推進課及び文化国際室では、8月26日（月）から9月1日（日）までの期間、岩手大学と岩手県立大学の大学生3名をインターンシップとして受け入れました。

インターンシップの期間中、地域協働のヒアリング訪問に同行したり、災害ボランティアとして従事したり、さまざまな業務を体験。岩手大学の佐々木さんは「市役所で働くうえで大切なことや、市民と行政の関わり方などを知り、勉強になりました」、岩手県立大学の一井さんは「課の雰囲気、仕事の取り組み方、情熱を肌で感じることができ本当に充実した時間でした」、同じく岩手県立大学の照井さんは「パソコン業務のほか、市が所管している施設なども見学でき、貴重な体験ができました」とインターンシップを振り返りました。

